

痛くないインフルエンザ診断機器「**nodoca**」を導入しました。

皆さんはインフルエンザの検査を受けたことはありますか？
鼻に綿棒を入れる検査は、痛くなかったですか？
ただでさえ熱があり体調が悪い体に追い打ちを受けるように鼻も痛くなり、つらい思いを
しませんでしたか？

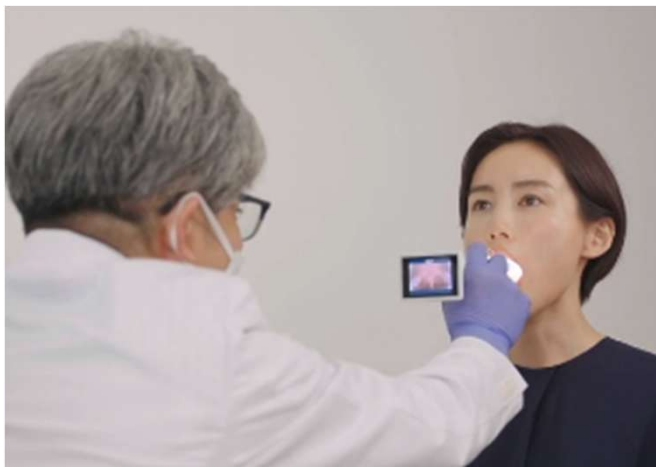
「nodoca」は、専用カメラでのどを撮影して、インフルエンザ感染を診断する、
痛くない診断機器です。

「nodoca」は日本で初めて「新医療機器」として認証を取得した医療機器です。

2022年12月に保険適応となりました。

(従来の検査と同様に3割負担で約900円の検査費用です)

6才以上の患者さんに保険適応となります。



上記写真の権利はアイリス株式会社に帰属します。

nodocaの特徴

①発熱・症状が出始めてすぐに検査可能

発症して間もない方も、従来のインフルエンザ抗原検査キットと比較して高い検出率を示します。

②痛みの少ない、患者さんにやさしい検査

綿棒を鼻に入れることなく口の中に専用のカメラを入れるだけで診断できます。

③判定開始から数秒～十数秒で判定結果取得

従来の検査では検査結果が出るまで10～15分程度待機する必要がありましたが、nodocaでは判定開始から最短10数秒で診断ができます。

nodocaは決して「万能の機械」ではありません。

以下のような問題点もあります。

- ・インフルエンザの診断はつきますが、A型・B型の区別まではつきません。
- ・のどの奥が見えにくい方は、検査ができません。
- ・従来の鼻に綿棒をいれるインフルエンザ迅速検査と両方を受けることはできません。
- ・**6歳未満のお子さんは受けることができません。**（保険適応は6歳以上となります。本当は小さなお子さんにこそ、nodocaのような痛くない検査を受けて欲しいのですが。。。）